



はれるんマガジン

～気象・地震に関わる素朴な疑問に答えます～ 発行：福岡管区気象台

今月の素朴な疑問

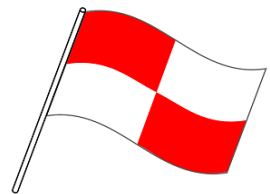
津波フラッグって??

今年も夏休みが近づいてきました。夏休み期間中は、海水浴へ出かける人も多くなります。今回は、海水浴場等において津波の危険があるときにライフセーバーや監視員が振る「津波フラッグ」を紹介します。

■「津波フラッグ」という言葉を聞いたことはありますか？

地震などが起き、海底の地形が変化すると津波が発生することがあります。気象庁では津波による災害のおそれがある場合には、大津波警報・津波警報・津波注意報（以下、津波警報等）を発表します。津波警報等はテレビやラジオ、サイレン、鐘など様々な手段で伝達されますが、海水浴場では、聴覚に障がいをお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方には届きません。そこで、視覚的に津波警報等が発表されていることを伝えるための手段として考え出されたのが「津波フラッグ」です。津波フラッグは、長方形を四分割した赤と白の格子模様で遠くからでも見やすいデザイン（「貴船の進路に危険あり」を意味する国際信号旗「U 旗」と同様）となっています。

津波フラッグによる津波警報等の伝達は令和 2 年から各地の海水浴場等で順次導入が始まり、福岡県では 6 市町にある海水浴場等で導入されています（令和 6 年 2 月時点）。気象庁・気象台では、さらに多くの海水浴場等で津波フラッグが活用されるよう、普及活動を進めています。



津波フラッグ

■海水浴場などで津波フラッグを見かけたら？

津波フラッグは津波警報等が発表された時に、海水浴場においてライフセーバーや監視員によって振られたり、海岸から見える建物にぶら下げられたりします。今年 4 月には、台湾付近の地震に伴い沖縄本島地方及び宮古島・八重山地方に津波警報が発表された際、その伝達手段の 1 つとして「津波フラッグ」が活用されました。海水浴場や海岸の近くで津波フラッグを見かけたら、それは津波の危険を知らせる合図ですので、ライフセーバー等の誘導にしたがい、すぐに海から離れ、高台や津波避難ビルなど少しでも高い安全な場所へ避難してください。



津波フラッグを振っているイメージ
(日本ライフセービング協会提供)



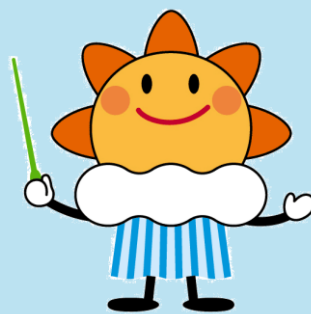
津波フラッグを見かけたり、海辺で大きな揺れ、揺れは小さくてもゆっくりとした長時間の揺れを感じたら、直ちに海から離れて高いところに避難しましょう！



祝 はれるん 20 周年！



今年 6 月 1 日で気象庁マスコットキャラクター「はれるん」が誕生して 20 周年を迎えました。はれるんは「太陽」「雲」「雨」をモチーフにしたキャラクターで、手には災害のない調和のとれた社会への祈りを込めた緑色のタクトを持っています。誕生 20 周年を迎えた今年、気象庁・気象台では、はれるんをきっかけに、みなさまに気象や地震・火山など自然現象への関心をもち、防災への意識を高めてもらえるよう、さまざまな取組を計画しています。7 月 28 日に気象台で開催する「お天気フェア」では 20 周年お祝いブースを設置する予定ですので、一緒にお祝いしましょう！



Instagram
はれるん公式アカウント
(期間限定)



ご意見をお待ちしています

問合せ先

〒810-0052 福岡市中央区大濠 1-2-36

福岡管区気象台地域防災推進課はれるんマガジン編集部

電話：092-725-3614

e-mail：fukuoka_bousaichosa@met.kishou.go.jp



次回の発行は 2024 年 7 月の予定です。